

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和7年度 第1回郷育推進会議
開催日時		令和7年5月20日（火）18：30～20：30
開催場所		市役所本館2階庁議室
委員名		（1）出席委員 木本会長、山口副会長、伊藤委員、宇都宮委員、大森委員、中島委員、瀧田委員、柳田委員 （2）欠席委員 國廣委員、立山委員
所管課職員職氏名		教育長 薄 俊哉 教育部長 宮原 栄介 郷育推進課長 芹野 文彦 郷育推進課郷育係長 宇藤 雄矢 郷育推進課郷育係 橋詰 結菜
会	議 題 （内 容）	（1）郷育推進課の主要事業の概要説明 （2）今年度の郷育推進会議の活動について
	公開・非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
議	非公開の理由	—
	傍聴者の数	1人
	資料の名称	参考資料（①令和6年度郷育推進課事業報告、令和7年度郷育推進課主要事業②地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）③福津市生涯学習推進計画改定に向けた提言）
会議録の作成方針		<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
		<input type="checkbox"/> 要点記録
		記録内容の確認方法：会長による確認
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

事務局挨拶

1. 開会のことば
2. 委嘱状交付
3. 教育長あいさつ
4. 委員紹介、事務局紹介
5. 会長、副会長選出
6. 協議事項

(1) 郷育推進課の主要事業の概要説明

＜令和6年度事業報告（別紙参照）、令和7年度郷育推進課主要事業＞

(2) 今年度の郷育推進会議の活動について

●会長

質問等あればどうぞ。

●委員

市内にカメラアステージ図書館（以下、カメラ図書館）と市立図書館があるが、もっと連携できないか。現在、各図書館でイベント等を行っているが別々で実施しているようなので、もっと繋がる事ができないだろうか。

●事務局

カメラ図書館は、指定管理者の下で運営している。「暮らしの中の図書館」をテーマに、利用者にとって居心地の良い滞在型の図書館を目指している。一方で、市立図書館は蔵書をメインに運営しており「静かな図書館」を目指している。どちらの図書館もそれぞれの特徴・良さがあり、あえて違いを持ったままで利用者が好みの図書館を選ぶことができればよいのではと考える。

●委員

市地域婦人会（以下、婦人会）の現状として、後継者不足、会員の高齢化などの課題がある。新規入会者がおらず、若い世代は働き盛りなので入会は中々難しい。また、会員の高齢化が進みこれまでの活動を実施する事で精一杯。新しい活動を始めるのはとても厳しい。

●会長

婦人会はキッカケラボの登録団体でもあり、活動歴が長い。これまで培ってきたノウハウやスキルを若い方たちに伝えることで、縦の繋がりを作ることができるのではという話が前回の会議で出ていた。また、社会教育の研修会等に参加することが組織のアップデートになり現在の課題解決のきっかけになるのではと思う。

●委員

市子ども育成会連絡協議会（以下、市子連）は、昨年上西郷地域が抜けて津屋崎のみとなった。連絡協議会としての機能が失われているのが現状である。

これまで、各校区の子ども会の行事の開催情報が伝わらないということもあったため、市子連に所属していない家庭にもきちんと案内ができるように準備をしている。

また、今後は広報誌またはホームページで呼びかけを行い、子どもたちや子ども会を支える大人が安心して活動を継続できることを目標に行っていきたい。

●会長

子ども会を行っているところはまだ多くあるのか。

●事務局

市では各自治会の子ども会の会長の住所や連絡先を把握しておらず子ども会の正確な数は把握できていない。そのため、自治会の会長さんに子ども会の開催情報の共有が中々できていないのが現状である。

●委員

文化協会メンバーは、現在 58 団体、約 700 名ほどが在籍し活動している。私が今所属している陶芸の団体では今年小学生 3 名、中学生 1 名、高校生 1 名が入った。その子どもたちの親世代にも興味を持ってもらい、今後少しずつ会員を拡大していけたらと思う。

●会長

郷育カレッジは今年で 23 年目を迎える。初めの 10 年はどのようにして受講生を獲得するかで悩んだ時期があり、若い世代にいかに入ってもらいか試行錯誤していた。例えば、夏休みの時期に子どもたち向けに講座を増やしたり、趣味の講座だけに偏らないように工夫したり、郷育カレッジをきっかけに本格的にやりたいと思われたら、専門の講師に繋ぐなどしてきた。受講生数は毎年増加しており、講座の売り込みも多く来ている。新規講座も増やし、年々郷育カレッジはパワーアップしてきているので今後も運営を頑張っていきたいと思う。

●委員

学校内で使用できる教室の数に限りがあり、アンビシャスで活動する場所が学校内になくなってきている。なるべく、子どもたちには放課後

安全な場所で活動してもらいたいので学校内で活動したいのが本音。また、見守り隊の人も段々と数も減ってきて寂しい気持ちもある。

●委員

今年度は教育大綱を1年かけて作成していくが、それに伴い教育総合計画と生涯学習推進計画も作成していかなければならない。そのために、これまでの活動計画や成果を踏まえて今後どんな目的をもって戦略し実施していくのか考えていく必要がある。

また、先ほど各団体内の後継者問題や活動内容の課題が挙がっていたが、今後は活動単位で人を集めていく視点も必要だと思う。活動単位で人を集めれば、様々な立場の人たちが集まり、繋がりが出てくるかもしれない。先ほど、文化協会の陶芸のお話も「陶芸」という活動に、世代関係なく興味を持った人が集まってきた。このような活動を人で繋いで行けたら、興味を持った人がその団体に入ってくる流れを作ることができ、持続可能な団体としての活動が作れるのではと思う。以上の内容を生涯学習推進計画に示すことができればよいと思う。

また、学校教育についてだが、現在、学校の教科書は紙とデジタルの両方で行うという動きがある。紙を残しつつ、図書館など情報を集積する場所では電子ジャーナルという電子媒体での検索をすることができデジタルを活用できる。文部科学省が行う全国学力調査では中学3年生の理科で初めてコンピューターを使用した試験を実施した。その他、OECD（経済協力開発機構）が実施している国際的な学力調査もすべてCBT試験（コンピューターによる試験）で行っている。このように、紙だけでなく動画などの情報から読み解く力が求められており、本当の意味での学力を測ることが出来る。このような教育の流れに合わせた、社会教育、生涯教育、図書館のあり方が間違いなく必要になってくる。

今年度、教育大綱を作成していくがその中で、福津市が県と連動したことを行っていく1つが「ワンヘルス」である。人と動物の健康と環境の健全性を一体のものとして守り、次世代へ継承していこうという条例である。この条例の内容を覚えるというよりも、この視点で今行っている活動を繋げ考えていく事が重要である。

例えば、松原清掃の活動では、松林はどうなっているのか、防風林のはたらきをしているとしたら気候はどうなっているのか、気候が変われば海の生き物の生態はどうなるのか、それに関連して人の暮らしはどうなるのかという風に人と環境と生き物を関係づけて捉える視点だと思えば良い。そして、現在行っている福津市コミュニティー・スクールの様々な活動の価値がよくわかり、他の活動と関係づけをしながら相互に深め、広めていくという考えである。

このような考え方を取り入れることができれば、現在実施している福津市の生涯学習や学校教育はより深まっていくと思う。

●会長

今、私たちが行っている目の前の活動がすべてであり、その活動をどう繋げていくかを考えなければならない。昨年度の郷育推進会議で、き

っかけラボと連携を行ったのは、「繋ぐ」ことに特化したノウハウを自分たちも学ぶことができればとの思いからである。

今後の福津市生涯学習計画改定に向けた提言について、昨年度は①社会教育に関する求められる情報の可視化と積極的な発言②活動と活動、人と人、活動と人をつなぎ、連携を進めるために、社会教育・生涯学習の拠点、中央公民館を立ち寄りやすい施設に、の2つを提言している。①の可視化と積極的な発言は生涯学習推進計画の核となる部分であり、様々なところで情報収集し準備をしていきたい。また、②について中央公民館が社会教育の活動の拠点として大変重要なものになっているが、現状はあまり魅力的な施設ではない。中央公民館の持つ役割の重要性はどんどん増してくる。小中学生や高校生などに何かアイデアを求めるなど様々な視点を取り入れて、社会教育の拠点をより重点的にする。また、行政の他の部署も有効に使えるようになればまた違う政策の取組みに繋がるだろうという話もある。

今後は、活動単位で人を集めるための拠点にする度に中央公民館をどう使い、どの組織がどう集まって何をするか考えていくことでより素敵な施設になるのではないか。この提言をより掘り下げていく事に取り組んでいきたいと思うので、様々なご意見とご協力を頂きたい。

7. 報告事項 なし

8. その他

(1) 各研修会の案内について

- ・市町村社会教育委員新任者研修会について
- ・令和7年度第55回九州ブロック社会教育研究大会福岡大会について
- ・令和7年度福津市立小・中学校グランドデザイン説明会実施要項について

(2) 次回開催日 令和7年7月9日(水) 18:30~20:00

以上で終了